

# メンタルヘルス通信



ココロリフレッシュルーム Vol:82 2012・9・15

## ○ 世界アルツハイマーデー

みなさん9月は世界アルツハイマー月間です。私たちにとって“アルツハイマー”という病気は比較的身近に感じられるものなのではないでしょうか。福祉の領域で働いていく上でも、アルツハイマー病について、しっかりとした知識を持っていたいものですね。

アルツハイマーという病気は、 $\beta$  (ベータ)アミロイド蛋白という異常なタンパク質が脳全体に蓄積することで、脳の神経細胞の性質が変わったり脱落したりする病気です。そのため脳の委縮が進行し、記憶障害などを呈します。CTやMRIといった画像診断では、比較的早い段階から、海馬領域の委縮が目立ってくるとされています。老年期の認知症の原因は、アルツハイマー病が最も多いとも言われています。アルツハイマー病は、誰もがかかる可能性のある、脳の老化に関係している病気だということがわかります。



9月に“世界アルツハイマーデー”が制定されているのですが、みなさんは世界アルツハイマーデーが何日なのか知っていますか？ 世界アルツハイマーデーは**9月21日**です。この世界アルツハイマーデーは、1994年に国際アルツハイマー病協会(ADI)が、世界保健機関(WHO)と共同で制定しました。1994年9月21日は、スコットランドのエジンバラにおいて、第10回国際アルツハイマー病協会国際会議が開催された初日でした。そのことから、9月21日を世界アルツハイマーデーとすることに決められたそうです。世界78カ国が加盟している国際アルツハイマー病協会が、この日を中心に認知症への理解をすすめる、認知症を抱える本人や家族への施策が充実されることを目的に、世界中で様々な啓発活動を行っています。

日本では、“公益社団法人 認知症の人と家族の会”が、全国各地において講演会などを行います。認知症の人と家族の会(以後:家族の会)は、1980年に結成され、「認知症があっても安心して暮らせる社会」を目指し、1万人の会員が励ましあい、助けあっています。全国46都道府県に支部があり、私たちの身近な場所ですどいや電話相談などが実施されています。HPからはつどいのスケジュールなどを確認することができますので、興味関心のある人はぜひHPをご覧ください。同じ立場で同じ悩みを抱える者同士が安心して自分の思いを話すことの出来る場合は、大変貴重な場ではないかと思えます。1人きりで悩み苦しんでいる人がいたら、まず電話してみることから始めても良いのではないのでしょうか。

\*家族の会による 認知症の電話相談

TEL 0120-294-456 10:00~15:00 (土日祝日を除く)

## §：41 統合失調症 その2

厚生労働省は、新たに精神障害者(そううつ病や統合失調症)の採用を企業に義務づける方針を固めました。これまで身体障害者・知的障害者の雇用は進んできましたが、精神障害者の雇用はあまり進んではいませんでした。障害を抱える人のハローワークでの求職申込件数も増加しており、なかでも精神障害者の増加が目立っているそうです。障害を抱える人の社会進出が進むと同時に、障害に対する正しい知識の普及もなされていくことを願います。

さて、今回は統合失調症の歴史(名称変更)や、発症しやすい年齢などについて考えました。今回は症状や治療法について考えていきたいと思います。



### ○ 症状

統合失調症の症状は、陽性症状と陰性症状の、大きく2つに分けて考えることができます。

- ①陽性症状とは、もともと心の中に見られない、異常なはたらきが見られるもので、
- ②陰性症状とは、陽性症状の逆で、本来心の中に見られるべきはたらきが見られない、もしくは鈍っているものです。代表的な症状とされる幻覚や妄想は陽性症状とされています。下記のように一定の症状をあげることはできますが、統合失調症は個別性の高い心の病です。知的能力はほとんど影響を受けませんが、現実検討能力が低下してしまいます。

#### 《 主な症状 》

##### 妄想

内容的にあり得ないことを強い確信を持って信じている。内容が奇異である他に、その説明が普通では考えられないような理由づけであり、本人に強い確信があり訂正することが難しい。  
e x. いつも誰かに見張られている、悪口を言われている

##### 幻覚

対象のないところに知覚が生じる。見えない物が見えたり、聞こえないことが聞こえたりする。統合失調症の場合幻聴が多い。(自分に対して何かを語りかけているような幻聴が多い)  
e x. 頭の中に複数人が話し合いをしている声がある、皮膚に寄生虫がいる、身体が歪んでいる

##### 思考と行動の障害

文法的に通じない発言や、話が支離滅裂で、頻繁な脱線がみられる。目的にそぐわない行動や激しい興奮・緊張、奇妙な姿勢・表情など。思考や行動にまとまりがなく、能率が低下し、社会との交流を避け、ひきこもりになることもある。

### ○ 治療法

現在、統合失調症の主な治療は薬物療法です。早い段階で適切な薬物療法を始めることが大切です。しかし、薬物による症状の鎮静化だけでは治療として十分ではありません。家族や周囲の理解を得ることも欠かせません。本人が社会生活を送っていくためにも、心理療法や SST(社会的スキル訓練)、心理教育などが重要な役割を果たしています。



9月の北海道は、記録的な大雨や暑さなど不安定な天候です。体調を崩してはいませんか？夏バテした身体のメンテナンスを忘れずして下さいね。9月17日は 敬老の日 ですよ！

\* そろそろ“食欲の秋”がはじまりそうですね。 ココロ リフレッシュルーム 0142-76-4780